

平成 21 年度 大学職員情報化研究講習会 ～応用コース～  
第 1 分科会【学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用】  
第 3 グループ報告書

第 1 分科会の主題である学生カルテ、ポートフォリオは共に実践している大学が少なく、導入を検討しているケースが主であった。第 3 グループでは、今回事例発表のあった創価大学や札幌学院大学を参考にしながら、カルテ、ポートフォリオの導入目的とその課題（対策）を私学の現状や学生の環境を考慮しつつ次のとおり取りまとめた。

1. 学生カルテの導入目的

① 教職共同による学生支援 [Drop Out（脱落者）の防止及び抑制]

学生の履修・出席・成績・生活の各情報を教職員が共有することで、Drop Out（脱落者）の防止及び抑制が可能となる。

② IR（Institutional Research）との連携

蓄積された情報から学生のパターンを割り出すことで、標準年数で卒業（就職）するケースや留年・休退学するケースが想定可能となる。

③ ポートフォリオとの連携

学生情報の蓄積は、そのままポートフォリオの情報にリンクすることが可能となる。

④ 学生情報の共有化によるワンストップの展開

担当者が変わらずとも学生の背景を知ることができる。

2. 学生カルテの課題と対策

① 各部署と教職員（メンター）の権限、管理する情報のランク、（学外・学内）セキュリティーレベルなどの各種設定

（対策）→ WG や委員会などを設置し、十分に議論を重ねた上でガイドラインを作成（利用権限や個人情報保護とのバランスを図ることも必要となる）する。併せて、各部署横断型の委員会（管理部署を兼ねる）を検討する。また、学生と保護者に対し情報履歴の重要性を主とした利用目的の説明を行う。

② 各部署の持つ情報が分散されている

（対策）→ 部署ごとにシステムを導入し、情報が分散しているケースが多いため、インフラの整備を行い情報の共有化（データベースの統合・サーバ間の連携）を図る。

③ システム導入後の形骸化防止と利用実績を評価するチェック機能の必要性

（対策）→ 適切な学生指導のツールとして利用し、その運用を学内で標準化させる。また、導入しやすい（協力可能な）学部学科を先行事例とし、利用実績をベースに徐々に他学部への利用実績を拡大させる。

3. ポートフォリオの導入目的

① 教育目標を達成するための振り返り

大学を卒業することは、その学部・学科の教育目標を達成するためのカリキュラムをこなし、卒業条件を満たすことである。この教育目標の達成度を見直す材料としてポートフォリオを活

用する。(図1参照)

- ② 情報の蓄積による IR (Institutional Research) への活用  
前項、1. ②と同様。

#### 4. ポートフォリオの課題と対策

- ① 学生情報に対する権限設定や管理部門の問題

(対策) → 前項、2. ①と同様。

- ② 教員・学生に情報の入力を促す手段

(対策) → 教員の入力は、FD 教育やゼミナール教育とリンクすることで助長させる。また、入力を強制し成績不良やメンタル部分の問題を未然に防止した運用実績を評価する手段も検討する。学生の入力は、TA (ティーチング・アシスタント) 及び SA (スチューデント・アシスタント) の協力 (相談・体験談) を得ることや、学内 SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を利用することで助長を図る。また、資格取得や就職など、明確な目標のある分野から導入することで、教育分野へ展開する

- ③ 振り返るための手段の必要性

(対策) → 教育目標に対する学生の達成度を卒業時以外の 1~3 年次に行うことにポートフォリオを利用し、現行カリキュラムの見直しを検討する機会を設置するなど、CP (カリキュラムポリシー) との連動を図る。

- ④ 各部署の枠を越えた運用が必要

(対策) → 教育支援 (学修支援) センターの充実

#### 5. 総括

学生カルテ・ポートフォリオのような新規教育支援の導入・検討に際し、ICT の導入 (システム導入・開発など) ありきで検討するケースが見られるが、ICT は学生の自発的な行動を促すためや情報共有のためのツールに過ぎない。

しかし、このツールを生かすことで情報の一元管理が可能となり、SNS の場による特定情報の共有化も図れる。ついては、学生カルテ・ポートフォリオの活用推進に一石を投じることが可能となる。

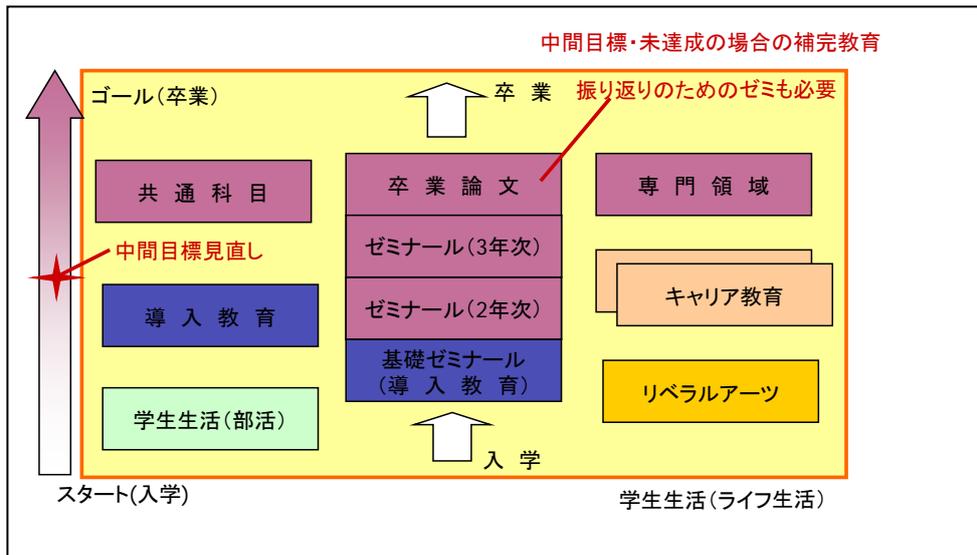
また、教育支援の根底には私学独自の建学の精神があるべきである。この建学の精神を達成するためのツールとして ICT を活用していること念頭に置き、学生カルテ・ポートフォリオの導入を検討していく必要がある。(図2参照)

以上

文責：甲南大学 教務部  
課長補佐 今野 令吏

《 参 考 》

【図1：ポートフォリオの導入目的】



【図2：建学の精神との関連図】

